

執筆者紹介（掲載順・敬称略）

編集後記

平川 彰  
国際仏教学大学院大学  
理事長・教授

鎌田 茂雄  
国際仏教学大学院大学教授

今西 順吉  
国際仏教学大学院大学教授

津田 眞一  
国際仏教学大学院大学教授

杉山 二郎  
国際仏教学大学院大学教授

斉藤 達也  
国際仏教学大学院大学  
附属図書館職員

四津谷孝道  
国際仏教学研究  
専任研究員

Robert  
Heinemann  
国際仏教学大学院大学教授

Hubert Durt  
国際仏教学大学院大学教授

J. W. de Jong  
オーストラリア国立大学  
名誉教授・本学客員教授

原 實  
国際仏教学大学院大学教授

私は今、またしてもマックス・プランクが言ったという例の言葉を、しかし今回は一種の危機感とともに、思い出している。それは、  
（学問上の新しい真理は、古い真理を奉ずる人々が説得され、それに転向することによって広まるのではなく、それら旧世代の人々が漸次死に絶え、次の世代が最初からその新しい真理に親しみながら育つというかたちで行き渡るのが常である）というのである。ひるがえつて、私の感じた仏教学の危機は、日本の近代という歴史との相関においてそれ自体が一箇の運命であったところの所謂近代仏教学とその真理が、その歴史の転換とともに思想としての必然性を全く失ってしまった（そのことを劇的なかたちで告げたのが、三年前のちょうど今日起ったオウム真理教事件であった）にもかかわらず、それに替るべき新しい真理の地平をわれわれ自身がまだ見出し得ていないという点に存する。しかし、近代仏教学が一箇の運命であったのなら、今

目におけるその困難はその新しい真理を求められ得べきものである。その努力に対して新たに開かれた一つの場としての本紀要に、私  
が幾許かの希望を託する所以である。  
（一九九八・三・二〇、S・T）

平成十年三月二十五日 印刷  
平成十年三月三十一日 発行

国際仏教学大学院大学  
研究紀要（第一号）  
（非売品）

発行者 原 實

発行所 〒105-8001

東京都港区虎ノ門五―三―二十三  
国際仏教学大学院大学  
電話（〇三）三四三四―六九五三

印刷所 〒113-0033

東京都文京区本郷四―三十四―三  
有限会社 安道印刷工業社